

結果の概要

～平成24年7月分～

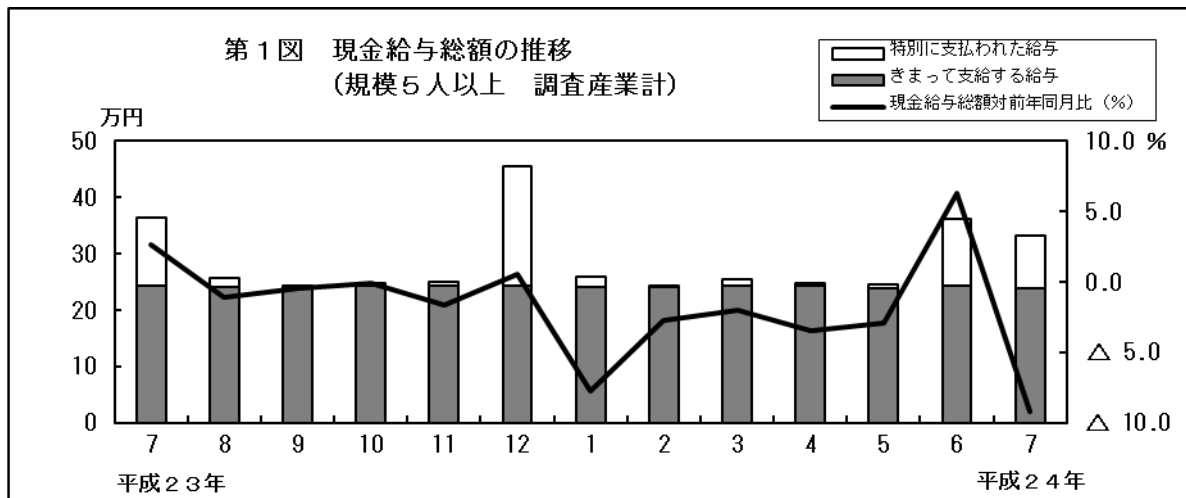
1 賃金の動き

7月分の調査産業計の1人当たりの月間現金給与総額は、331,155円となり、その指数は対前年同月比9.2%減（規模30人以上では、360,842円、13.9%減）となった。（第1図、第1・2表）

また、きまって支給する給与（定期給与）は、237,250円、対前年同月比は2.1%減（規模30人以上では、257,316円、1.5%減）であった。（第1・2表）

きまって支給する給与のうち所定内給与は、221,726円、対前年同月比は2.5%減（規模30人以上では、238,178円、2.0%減）であった。（第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の現金給与総額は、478,124円（規模30人以上では、498,595円）、パートタイム労働者は、101,293円（規模30人以上では、113,931円）であった。（表20・21表）



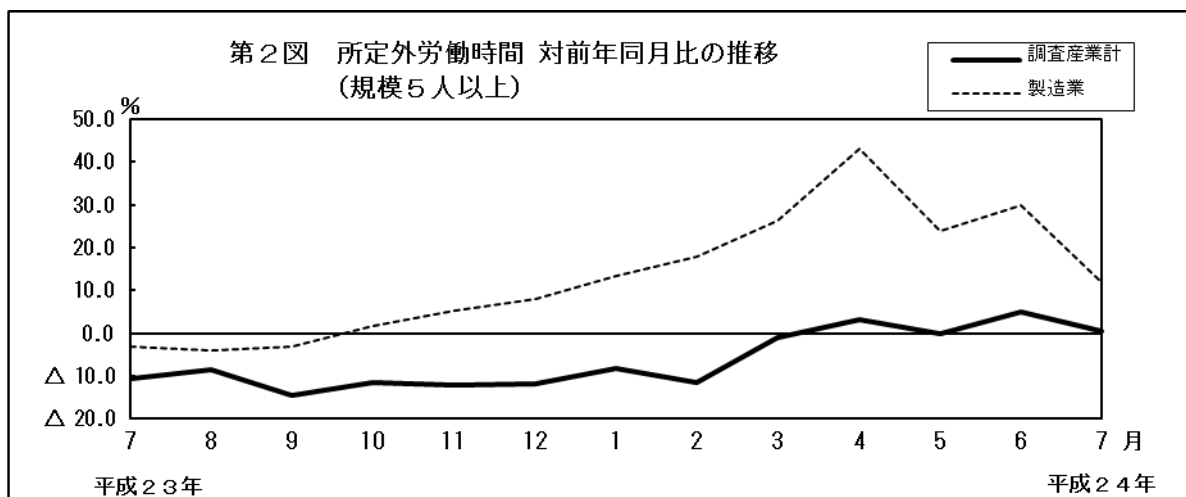
2 労働時間の動き

7月分の調査産業計の月間総実労働時間は、141.0時間、対前年同月比は2.5%減（規模30人以上では、145.1時間、1.9%減）となった。（第1・2表）

また、所定外労働時間は、9.5時間、対前年同月比は0.5%増（規模30人以上では、11.2時間、2.6%増）であった。（第2図、第1・2表）

製造業の所定外労働時間は、13.8時間、12.0%増（規模30人以上では、13.2時間、2.5%増）であった。（第2図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の総実労働時間は、172.6時間（規模30人以上では、170.2時間）、パートタイム労働者は、91.8時間（規模30人以上では、100.2時間）であった。（表20・21表）



3 雇用の動き

7月分の調査産業計の推計常用労働者数は、規模5人以上で2,036,248人、対前年同月比は0.5%増（規模30人以上では、1,170,172人、対前年同月比は0.4%減）となった。製造業では392,797人、対前年同月比は2.0%減（規模30人以上では、280,513人、対前年同月比は3.2%減）であった。（第3図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者数は、1,242,988人（規模30人以上では、751,843人）、パートタイム労働者数は、793,260人（規模30人以上では、418,329人）となり、常用労働者中のパートタイム労働者の比率は、調査産業計で39.0%（規模30人以上では、35.7%）であった。（第1・2・20・21表）

